事例No.	1146
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	徳島県美馬市

事例区分	一般行政

タグ	・組織改革 ・事務の共同実施 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

アウトソーシングによる森林経営管理制度の推進

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

森林整備

徳島県　美馬市（アウトソーシングによる森林経営管理制度の推進）

- 美馬市は、林野率80%、私有林人工林面積約13,000haと森林の豊富な地域であるが、間伐面積は143ha（H30）に留まり、今後は森林に無関心な所有者への施業意識の醸成が必要。また、地元には小規模な林業事業体が多く、事業の安定供給、事業地の確保が課題。
- このたび、市町村による森林経営管理の仕組みが法制化されたが、職員に高度な専門性が求められるため、業務のアウトソーシングが必要と考え、これらの課題を解決するべく、美馬市・つるぎ町・県の現地機関で新たな団体『やましごと工房』を平成３０年１０月に設立した。
- 令和元年度においては、768人（1,726.62ha）に対して森林管理の意向調査を実施し、このうち531人（1,303.07ha）から返信があった。このうち70%の方が森林管理を市に任せたいなど、主体性をもっていない所有者であった。
- 次年度は、意向調査の結果を踏まえ、説明会の実施や経営管理権集積計画の作成を進めるとともに、引き続き残りの地域の意向調査を併せて実施する。

□ 事業内容

1　森林所有者への意向調査

- 美馬市を15区間に分け、このうちの１区間（768人、1,726.62ha）に対して、「やましごと工房」が意向調査を実施した。

【事　業　費】11,070千円（うち譲与税11,070千円）

【実　　績】・調査票到達：723人（到達率94%）

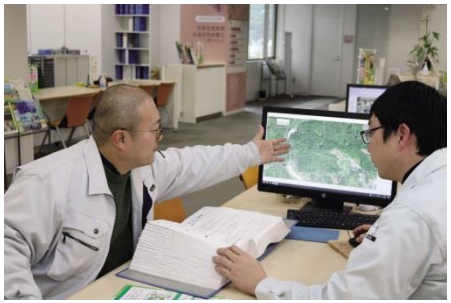
・うち調査票返信：531人（返信率73%）

・うち自ら管理を行いたい方：83人（16%）

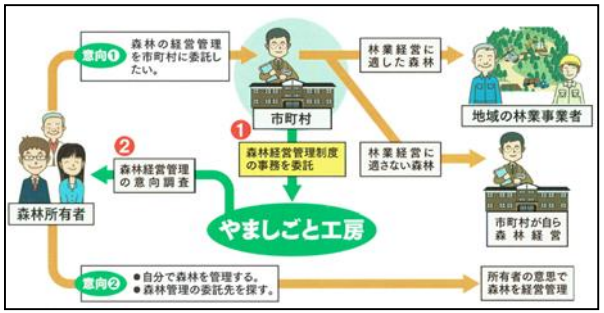
他の人（会社・団体）に任せたい方：75人（14%）

森林の管理を市に任せたい方：229人（43%）

その他（方針が定まっていない）：144人（27%）



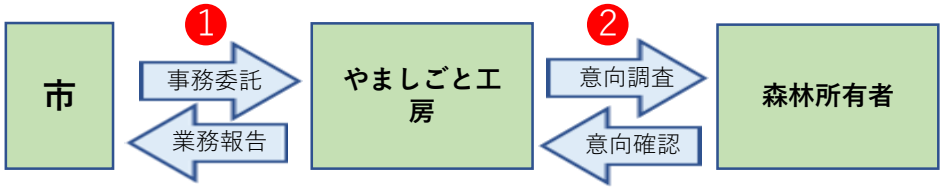
（事業１：やましごと工房との打ち合わせ）



（やましごと工房とのスキーム）

□ 事業スキーム

1　森林所有者への意向調査



□ 工夫・留意した点

- 意向調査を『やましごと工房』にアウトソーシング。
- 調査票の送付後、電話や簡易書留など３回にわたる督促を実施。
- 回答をいただいた方から抽選で地元特産品を贈呈。

以上の工夫により、高い返信率（73%）を達成。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	24,855千円
②私有林人工林面積（※１）	13,134ha
③林野率（※２）	79.6%
④人口（※３）	30,501人
⑤林業就業者数（※４）	87人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　※３，４：「H27年国勢調査」